

目次

第24回研究発表大会のお知らせ -----	1p
代議員(社員)総会・理事会報告 -----	3p
正味財産増減計算書・収支予算書(収支) -----	4p
学会からのお知らせ -----	5p

委員会報告・支部報告・分科会報告 -----	6p
学会周辺の動向 -----	7p
学会後援行事等のお知らせ -----	7p
事務局からのお知らせ -----	7p

第24回研究発表大会のお知らせ

第24回地理情報システム学会研究発表大会は、2015年10月10・11日（土・日）,慶應義塾大学三田キャンパスにて開催されます。本年度も通常の研究発表（講演, ポスターセッション）に加え、多彩なセッション企画（シンポジウム, ワークショップ, ハンズオンセッション, チュートリアルセッション, GIS技術紹介セッションなど）などのプログラムを予定しております。奮ってお申し込み下さい。

1. セッション企画

シンポジウム, ワークショップ, ハンズオンセッション, チュートリアルセッション, GIS技術紹介セッションなど、特に形式は問いません。1セッション（約1時間50分）を単位とし、複数セッションにまたがることも可能です。

セッション企画につきましては、個人会員・賛助会員の方々からご提案いただけます。特に各分科会の方々につきましては、日常の研究成果を発表するまたとない機会ですので、積極的なご参加をお願いいたします。

■ 発表申し込み手続き

下記のメールを、7月8日（水）までに貢広大会実行委員長（E-mail: sada@csis.u-tokyo.ac.jp）宛、お送り下さい。

- セッション題名
- セッションの種類（シンポジウム, ワークショップ, ハンズオンセッションなど）
- セッション企画者（代表者のみ）氏名, 所属, メールアドレス
- セッション概要（400字程度）
- セッション枠数
- 必要機材（パーソナルコンピュータなど）
- 座席数

発表の可否は、7月31日（金）までに直接メールにてご連絡致します。なお、会場の設備等により、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

2. 研究発表

講演発表とポスター発表があります（梗概集はCD-ROM版のみの発行です）。

講演発表：論文の提出が必要です。論文は、地理情報システムに関する理論研究・応用研究の成果で、原則として未発表のものに限ります。また、独創性・完結性がないものの発表は認めません。

ポスター発表：研究形成段階の討論や調査・活動報告などでも結構です。自由で活発な情報交換の場として活用ください。論文の提出は必須ではありませんが、提出された原稿はCD-ROMに収録されます。

講演発表、ポスター発表共に、商業宣伝的な内容のものは認めません。機器展示あるいはGIS製品・利用例紹介セッションにお申し込み下さい。

なお、今年度より、講演発表およびポスター発表の発表者（第一著者）には、測量CPD学習プログラムのポイントが付与されます。希望者は大会当日、受付までお申し出ください。

大会で発表した場合、(1)「GIS上級技術者」に申請することができます、(2)「測量CPD学習プログラム」にも登録することができます。

■ 応募資格

- どなたでも発表できます。但し、発表者または共同研究者（連名者）のうち、少なくとも1名は学会の個人会員（正会員または学生会員）である必要があります。また、賛助会員については、1口につき個人会員1名分の発表資格を有するものとみなします。
- 発表者となるのは、賛助会員枠を含めても1名につき1

- 題に限ります。但し以下のような場合には、発表の重複が認められます。
- 複数の発表について共同研究者（連名者）となること。
 - 同一題目で講演とポスターセッションの両方で発表を行うこと。
 - 通常セッションと、特別セッションの両方で発表を行うこと。
- (3) 大会発表会場において指定された日時に発表できること。
発表日時の指定は受け付けません。また、会場の都合により発表総数を制限する場合があります。
- (4) 会員は、2015年度までの年会費完納者であること。

■ 発表申し込み手続き

1. アブストラクトの提出

7月1日（水）～7月15日（水）正午（必着）の期間内に、
以下からお申込みください。

<https://www.easychair.org/account/signin.cgi?conf=gisa2015>

※ 利用方法については、大会HPに説明書を掲載しております。

※ 記入された氏名と論題が、そのままニュースレター及び大会HPのプログラムとCD-ROMに掲載されます。

7月16日以降の修正は一切受け付けませんので、予めご了承下さい。

発表の可否は、7月31日（金）までに学会HPに掲載されるプログラム（予定案）及びアブストラクトにてご確認下さい。個別のご連絡は行いませんのでご注意下さい。

2. 講演論文集用原稿の提出

7月1日（水）～8月15日（土）正午（必着）です。

※例年よりも締め切りが早くなっています

【Easy Chair宛に提出】

(1) 発表論文原稿 (PDF)

作成要領については、HP掲載のテンプレートファイルをご活用下さい。

【学会事務局宛に郵送】 当日消印有効

(1) 上記の発表論文原稿を打ち出したもの1部

(両面印刷を推奨します。セッション司会者に事前送付するため)

※ 大会優秀発表賞にエントリーする者は2部

(両面印刷を推奨します。司会者および審査員にも事前送付するため)

(2) 著作権譲渡契約書（直筆の署名が必要）(HP掲載の書式をご覧下さい)

・CD-ROM作成の日程都合上、上記受付期間より遅れて到着した原稿は一切受け付けられません。発表申請を取り消させて頂きますので、予めご了承下さい。

・MS-Wordなどを用いて作成した原稿のPDF化に関してはHPを参考にしてください。フリーソフトも紹介されています。なお、PDFの品質は、そのまま印刷に耐えるレベルのものをお願いいたします。

・使用言語は日本語または英語とします。

・原稿の仕上がりサイズはA4版4枚とします。

・発表者に連絡がつきにくい可能性がある場合は、申込書に確実な連絡先も明記してください。原稿の不備等で連絡を

差し上げる場合があります。

- 発表原稿の編集・出版の権利は、地理情報システム学会に帰属します。

■ 大会参加費（講演論文集のCD-ROM代金を含む）

正会員または賛助会員枠の参加者：

事前登録 4,000円（当日受付 6,000円）

学生会員： 事前登録 3,000円（当日受付 4,000円）

非会員（一般および大学生以上）：

事前登録 7,000円（当日受付 8,000円）

高校生以下、70歳以上：

無料（必ず年齢を証明するものをご提示ください）

懇親会参加費：事前登録 4,200円（当日受付 5,000円）

懇親会会場：ディナギャンドス（会場校より徒歩数分）

<http://r.gnavi.co.jp/g062322/>

- 事前登録、当日受付とも、領収書を発行いたします。

事前登録について：

大会HPの「事前登録申込フォーム」に必要事項をご登録の上、代金をお振り込みください。

土曜、日曜とも昼食の手配はありません。

事前登録の締切は9月25日（金）です。

※期日までに入金が確認されない場合、事前登録はキャンセルとなります。

3. 第11回大会優秀発表賞

学生会員の発表レベルの向上を図る目的で、本年度も「大会優秀発表賞」を設けます。以下の条件を満たす方が対象となります。

- 本学会の学生会員であること（2015年7月15日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。但し、2015年度までの年会費完納者）
- 修士号未修得であること
- 講演発表の発表者であること

受賞候補者は、研究（論文）内容、発表技術の優秀者からセッション司会者が推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

なお、発表受賞者には、賞状を後日送付すると同時に、GISAニュースレター96号に所属・氏名を発表します。

また、『GIS-理論と応用』Vol.23-No.2に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は11月20日（金）までにA4用紙1枚の原稿をご提出ください。（書式は追ってご連絡差し上げます）

4. 第4回ポスターセッション賞

ポスターセッションの質疑応答などの活性化をはかるため、今年度も学会賞を設けます。ポスターセッション参加者全員が審査の対象となります。審査方法は、事前登録した方には郵送で、当日受付の方は参加費お支払いの際にお渡しする審査用紙をご覧ください。

なお、発表受賞者には、賞状を後日送付すると同時に、GISA ニューズレター96号に所属・氏名を発表します。

また、『GIS-理論と応用』Vol.23-No.2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は11月20日（金）までにA4用紙1枚の原稿をご提出ください。（書式は追ってご連絡差し上げます）

5. 機器展示

展示内容：パソコンまたはandroid/iOSタブレット上で稼動するGISやGPSのデモソフトとします。

応募資格：学会賛助会員に限ります。出展費用は無料です。

応募要領：以下の内容を明記の上、E-mailにて事務局にお送りください。

①会社名（所属） ②連絡先電話番号、E-mail ③担当者 ④展示ソフト名称 ⑤展示概要（200字程度。ニュースレター や会場配布のパンフレット及び大会HPに掲載します） ⑥必要電源の個数

受付期間：7月1日（水）～8月15日（土）

※7月31日（金）までの受付分は、展示概要をニュースレター95号に掲載します。

（それ以降の受付も、大会HPには掲載されます）。

出展の可否：9月23日（水）までに機器展示要項と共にE-mailで通知します。

※会場の都合により、各日の展示件数及び、1社当たりの機器構成（電気容量）について事務局が調整することがあります。

代議員（社員）総会・理事会報告

■ 第9回社員総会報告

[事務局長 厳 綱林]

議事

開催日時：平成27年5月30日15時00分～16時00分

開催場所：東京都文京区本郷7丁目3-1

東京大学工学部14号館144号室

出席代議員数：21名

●開会

15時00分に矢野会長が議長として開会を宣言した。次の通り社員の出席があったので、本社員総会が適法に成立した旨を告げた。

議決権のある当法人社員総数 44名（議決権の数 44個）

出席社員数 21名（議決権の数 21個）

代理出席社員数 0名（議決権の数 0個）

書面による議決権の行使数 12名（議決権の数 12個）

出席代表理事：矢野 桂司

出席理事： 太田 守重、大場 亨、小口 高、奥貫 圭一、

大佛 俊泰、厳 綱林、小荒井 衛、

玉川 英則、山本 佳世子

出席監事： 浅見 泰司、吉川 真

・第1号議案 2014年度事業報告について

厳事務局長が2014年度に実施した事業について配付資料に基づき報告した。討議の後、満場一致で本議案は承認された。

・第2号議案 2014年度決算と会計監査について

玉川財務担当理事が2014年度の財務諸表などについて配付資料に基づき説明した。引き続き浅見監事から監査内容

についての説明があった。討議の後、満場一致で2014年度決算と監査結果は承認された。

・報告1 2015年度事業計画及び予算について

厳事務局長から2015年度事業計画について配付資料に基づき報告がなされた。また玉川財務担当理事から2015年度予算について報告した。

●閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が16時00分に本社員総会の閉会を宣した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会第40回理事会 [事務局長 厳 綱林]

●開会

定刻13時00分に、矢野会長が議長を務め開会を宣言した。次の通り過半数を超える理事の出席があったので、本理事会が適法に成立した旨を告げた。

総理事：10名 出席理事：10名

・報告1 職務執行状況について

玉川財務担当理事から資料に基づき財務執行報告がなされた。

大佛総務担当理事から学術大会講演集のオンライン化について資料に基づき方針報告がなされた。2011年より直近2年前まで公開するとする。Web化に関しては、大場大会担当理事が担当する。

太田資格担当理事から資料に基づきGISCAに関する職務報告がなされた。年3回のメールマガジンを学会メールニュース登録者にも送るとともに、PDFにしGISCAのHPでも見られるようする。

奥貫編集担当理事から資料に基づき職務執行報告がなされた。特集テーマが募集中、原著論文投稿が増えている報告があつた。

山本支部・分科会担当理事から資料に基づき職務執行報告がなされた。支部・分科会の活動成果をまとめて学会誌への掲載を呼びかけた。若手会員分科会を設置する提案があつた。設置準備を認めた。

小口学会賞・教育担当理事から資料に基づき職務執行報告がなされた。学会賞の選定基準について議論された。対象論文の評価方法について委員会で議論してもらうことにした。

大場大会担当理事から資料に基づき執務報告がなされた。KAGISとの協力関係の見直しについて進行中であること、第24回大会は2015年10月10-11日に慶應義塾大学三田キャンパスで開催される。会員の権利と責務について法令、会員規約の調査報告があつた。

企画・涉外に関して、小荒井担当理事から資料に基づき職務執行報告があつた。G空間EXPO'2015（11月26-28日、未来科学館）について本学会の参画強化が要請された。企画委員会を中心に対応する体制を作った。地球惑星科学連合大会でのセッション参加の報告があつた。

事業活動収支の部		予算額	前年度予算額	(単位:円)
	科 目			
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会員費	会員費	13,951,500	14,022,500	-71,000
正会員	正会員	10,488,000	10,545,000	-57,000
学生会員	学生会員	463,500	427,500	36,000
大正会員	大正会員	3,000,000	3,050,000	-50,000
会員費	会員費	1,300,000	1,370,000	-70,000
会員費	会員費	400,000	450,000	-50,000
会員費	会員費	100,000	120,000	-20,000
会員費	会員費	300,000	300,000	0
会員費	会員費	500,000	500,000	0
会員費	会員費	1,700,000	1,670,000	30,000
機関誌料費	機関誌料費	1,000,000	1,000,000	0
機関誌料費	機関誌料費	1,000,000	1,000,000	0
大会講演会料	大会講演会料	650,000	600,000	50,000
大会講演会料	大会講演会料	650,000	600,000	50,000
刊行物販売料	刊行物販売料	50,000	70,000	-20,000
資格申請料	資格申請料	500,000	450,000	50,000
登録料	登録料	180,000	150,000	30,000
新規登録料	新規登録料	120,000	100,000	20,000
会員登録料	会員登録料	200,000	200,000	0
会員登録料	会員登録料	80,000	80,000	0
会員登録料	会員登録料	80,000	80,000	0
その他収入	その他収入	17,531,500	17,592,500	-61,000
事業活動収入計				
2. 事業活動支出				
会員料金	会員料金	1,020,000	1,200,000	-180,000
会員料金	会員料金	300,000	250,000	-50,000
会員料金	会員料金	70,000	280,000	-210,000
会員料金	会員料金	50,000	50,000	0
会員料金	会員料金	0	20,000	-20,000
会員料金	会員料金	100,000	100,000	0
会員料金	会員料金	500,000	450,000	50,000
会員料金	会員料金	2,530,000	2,540,000	-10,000
会員料金	会員料金	450,000	430,000	20,000
会員料金	会員料金	1,900,000	1,930,000	-30,000
会員料金	会員料金	1,900,000	1,930,000	-30,000
会員料金	会員料金	180,000	180,000	0
会員料金	会員料金	180,000	180,000	0
会員料金	会員料金	307,000	270,000	37,000
会員料金	会員料金	50,000	50,000	0
会員料金	会員料金	50,000	50,000	0
会員料金	会員料金	80,000	80,000	0
会員料金	会員料金	47,000	0	47,000
会員料金	会員料金	0	10,000	-10,000
会員料金	会員料金	1,970,000	1,806,000	164,000
会員料金	会員料金	10,000	0	10,000
会員料金	会員料金	10,000	0	10,000
会員料金	会員料金	50,000	50,000	0
会員料金	会員料金	50,000	50,000	0
会員料金	会員料金	200,000	200,000	0
会員料金	会員料金	200,000	200,000	0
会員料金	会員料金	120,000	120,000	0
会員料金	会員料金	120,000	120,000	0
会員料金	会員料金	1,590,000	1,436,000	154,000
会員料金	会員料金	400,000	300,000	100,000
会員料金	会員料金	200,000	150,000	50,000
会員料金	会員料金	50,000	50,000	0
会員料金	会員料金	170,000	169,000	1,000
会員料金	会員料金	170,000	167,000	3,000
会員料金	会員料金	600,000	600,000	0
会員料金	会員料金	170,000	200,000	-30,000
会員料金	会員料金	170,000	200,000	-30,000
会員料金	会員料金	90,000	90,000	0
会員料金	会員料金	90,000	0	90,000
会員料金	会員料金	50,000	0	50,000
会員料金	会員料金	11,380,000	11,290,000	90,000
会員料金	会員料金	4,580,000	4,550,000	30,000
会員料金	会員料金	3,380,000	4,550,000	-1,170,000
会員料金	会員料金	1,200,000	0	1,200,000
会員料金	会員料金	1,250,000	1,250,000	0
会員料金	会員料金	750,000	750,000	0
会員料金	会員料金	640,000	640,000	0
会員料金	会員料金	1,250,000	1,250,000	0
会員料金	会員料金	550,000	550,000	0
会員料金	会員料金	700,000	700,000	0
会員料金	会員料金	560,000	500,000	60,000
会員料金	会員料金	50,000	50,000	0
会員料金	会員料金	1,700,000	1,700,000	0
会員料金	会員料金	80,000	80,000	0
会員料金	会員料金	10,000	10,000	0
会員料金	会員料金	100,000	100,000	0
会員料金	会員料金	410,000	410,000	0
会員料金	会員料金	755,000	765,000	-10,000
会員料金	会員料金	70,000	70,000	0
会員料金	会員料金	80,000	80,000	0
会員料金	会員料金	5,000	5,000	0
会員料金	会員料金	70,000	70,000	0
会員料金	会員料金	110,000	110,000	0
会員料金	会員料金	80,000	90,000	-10,000
会員料金	会員料金	100,000	100,000	0
会員料金	会員料金	100,000	100,000	0
会員料金	会員料金	140,000	140,000	0
会員料金	会員料金	18,272,000	18,121,000	151,000
会員料金	会員料金	-740,500	-528,500	-212,000
II 投資活動収支の部				

① 14年度の収支計算書の次期繰越収支差額
 ② ①+14年度実施の当期収支差額

- ・報告 2 選挙のスケジュールについて
　　厳事務局長から資料に基づき報告がなされた。
- ・報告 3 測量 CPD 学習プログラム認定について
　　事務局から資料に基づき報告がなされた。
- ・報告 4 入退会会員リストについて
　　厳事務局長から資料に基づき報告がなされた。
- 審議事項
 - ・第 1 号議案 2014 年度事業報告について
　　厳事務局長から資料に基づき説明がなされた。
 - ・第 2 号議案 2014 年度決算と会計監査について
　　玉川財務担当理事から基づき説明がなされた。
　　浅見監事から監査報告がなされた。以上、議論の結果、満場一致承認された。
 - ・第 3 号議案 2015 年度事業報告について
　　厳事務局長から資料に基づき説明された。
 - ・第 4 号議案 2015 年度決算と会計監査について
　　玉川財務担当理事から基づき説明された。
 - ・その他
　　第 41 回、42 回、43 回理事会の開催日程確定。
　　地理情報標準認定資格制度の大会前日ワークショップ、教室を確認。
　　25 周年記念イベント準備委員会について、矢野会長から準備する。
- 閉会
　　予定されていた議事をすべて終了し、議長が 14 時 55 分に本理事会の閉会を宣した。

【学会からのお知らせ】

■ 電子国土賞 2015 募集のお知らせ

国土地理院では、今年も電子国土賞の表彰を行います。
今年度から自薦による応募も可能（個人のみ）となります
が、当学会の推薦を受けてからの応募をご希望の方は、学会事務局に必要書類を添付の上、メールでご連絡ください。審査の上、推薦の可否を決定いたします。

必要書類：以下 2 点

<http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/G-award/outline.html>

- ・電子国土賞推薦書（様式 1）枠内ののみの記入で可
- ・確認書（様式 2）

提出期限：2015 年 9 月 4 日（金）

※審査の都合上、地理院の締切より早くなっております。

詳しくは…

<http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/G-award/index.html>

■ 日韓 GIS 国際シンポジウムのご案内 (スカラシップあり)

日韓相互訪問している韓国 GIS 学会（KAGIS）との共同シンポジウムは、韓国・釜山の釜慶国立大学（PuKyong National University, Busan）で開催されます。

また、今年度より、隔年で若手海外派遣スカラシップを設けることとなりました。

上記の国際シンポジウムにおいて 優れた発表を行った学生会員 1 人につき 3 万円を支給いたします（上位 3 名まで）
発表をお考えの方は、ぜひこちらも併せてチャレンジしてく

ださい。みなさまのお申込をお待ちしております！

【会期・会場】

2015 年 11 月 5 日（木）～11 月 7 日（土）
釜慶国立大学（PuKyong National University, Busan）
<http://www.pknu.ac.kr>

【国際セッション】

2015 年 11 月 5 日（木）
※ 発表時間は一人 20 分（英語）です。
※ 昼食は先方で用意されます。

【ポスターセッション】

A0 サイズで出力したものを、発表当日にご持参ください。
※ フロアでの発表はありません。
※ セッション時間内の質疑応答には対応してください。

【懇親会】

2015 年 11 月 5 日（木）夕方より
※ GIS 学会員はご招待です。

【申込期間】

2015 年 7 月 16 日（木）～9 月 30 日（水）〆切 15 時までにメール必着です。

【申込方法】

提出物：論文（PDF ファイル/英語/A4/2 枚）
テンプレートは学会 HP に掲載中です

下記の事項を学会事務局までメールにてご連絡ください。

メール件名は 「KAGIS 大会発表申込・氏名」 に統一してください。

（発表者）

氏名（和）：

氏名（英）：

所属（和）：

所属（英）：

国籍：

発表種目：国際セッション ・ ポスター ・ 両方

招待状の必要性：あり or なし

懇親会：出席 or 欠席

連絡先メールアドレス：

■ 2015 年度学会賞募集（既報）

[学会賞委員会委員長 寺木 彰浩]

毎年、秋の研究発表大会で表彰が行われる「地理情報システム学会賞」5 部門（研究奨励、学術論文、ソフトウェア、教育、著作）の応募受付期限が、近づきました。いずれも自薦、他薦は問わず、またグループも対象となる部門もあります。

締切は、7 月 15 日（水）です。ホームページで詳細を参照の上、奮ってご応募ください。

<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

■ GIS 資格認定協会からのメールニュース配信について

GIS 資格認定協会の活動をより深く知っていただくため、これまで GIS 上級技術者に配信されていたメールマガジン（季刊）を、会員のみなさまにもお届けすることになりました。地理情報システム学会事務局からの配信といたします。

現在、学会メールニュースの配信を受けていない方で講読をご希望の方は、地理情報システム学会事務局までご連絡く

ださい。（会員専用ページから、ご自分で登録することもできます）

■ 次期一般社団法人地理情報システム学会代議員募集のご案内（予告）

現在の代議員の任期が本年 12 月 31 日に満了となるのに伴い、代議員の募集を行います。

受付期間は 2015 年 10 月 10 日（大会当日）からの予定ですが、詳細は次号ニュースレターや HP にてご案内いたします。

【委員会報告】

■ GIS 資格認定協会

[大伴 真吾]

昨年度、関連学協会から GIS 名誉上級技術者の推薦をいただき、GIS 資格認定協会審査委員会にて審議した結果、次の 4 名の方に GIS 名誉上級技術者称号を贈呈させていただくことになりました。

浅見 泰司様（地理情報システム学会推薦）

太田 守重様（地理情報システム学会推薦）

建石 隆太郎様（日本リモートセンシング学会推薦）

野々村 邦夫様（日本地図学会推薦）

（順不同）

つきましては、7 月 19 日（金）にエフプラザ（主婦会館、JR 四ツ谷駅前）にて贈呈式を執り行います。

また、記念講演会等も企画しております。詳しくは GIS 資格認定協会ホームページ、メールマガジンでご案内させていただきますので、多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

なお、5 月 20 日時点の認定数ですが、GIS 上級技術者数は 391 名、GIS 名誉上級技術者数は 15 名（上記の 4 名は含まれておりません）、教育プログラム数は 29 となっております。

■ 教育委員会

[酒井 高正]

「2015 年度 初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰」2015 年度も表記の表彰事業を実施します。募集要項は HP 等にてご案内いたします。

【応募資格】

日本国内の初等中等教育現場において、GIS を実践的に活用した授業に取り組んでいる教員等（※）の個人又はグループ。（学会員に限りません。）※教員等：初等中等教育現場における GIS を実践的に活用した授業の取り組みに関わっていれば、教員以外の方も対象となります。

【募集期間】

2015 年 7~8 月頃の予定です。

【支部報告】

■ 中国支部

[川瀬 正樹]

中国支部事務局変更のお知らせ

本年度より、中国支部の支部長が川瀬正樹（広島修道大学）に変わりました。宜しくお願ひいたします。

さて、中国支部で毎年、広島原爆の日の前後に開催しております『平和教育 GIS』セミナーを、今年も開催します。興味・

関心のある方は、これまでの『平和教育 GIS』セミナー報告、

http://www.gisa-japan.org/regional_office/chugoku/seminar/index.html

をご覧いただき、参加をぜひご検討下さい。参加希望、およびお問い合わせは、

中国支部、担当：川瀬（kawase@shudo-u.ac.jp）

までお願い致します。

『平和教育 GIS』セミナー

主催：地理情報システム学会 中国支部

後援：公益財団法人広島平和文化センター

日時：2015 年 8 月 2 日（日）

午前の部（午前 8 時～）：フィールドワーク

午後の部：室内作業・発表会（一般公開）

集合場所（午前の部）：『広島平和記念資料館 東館 入口前』

会場（午後の部）：県立広島大学サテライトキャンパス

ひろしま 5 階 502

※ GIS ソフトは、東京カートグラフィックの「地図太郎」を使用します。

午後の部は、一般の方の参加も可能です。地域学習にも利用できますので、ご興味のある方や、教職員の方のご参加をお待ちしています。

【分科会報告】

■ FOSS4G 分科会

[嘉山 陽一]

オープンソース GIS の祭典 FOSS4G 2015 HOKKAIDO と FOSS4G SEOUL 2015 の紹介

OSGeo 財団本部や日本支部を含む世界中の支部は、毎年世界中でフリー＆オープンソース GIS の祭典 FOSS4G を開催しています。これらのイベントは年 1 回のワールドワイドイベントから北米、ヨーロッパ、アジア等の国際地域イベント、国別のイベント、国内の地域イベント等、様々な規模とテーマで開催されています。

オープンソースソフトウェアにとってソフトウェアの利用や改良のための情報を共有するコミュニティの存在が重要です。FOSS4G イベントは、空間情報分野のオープンソースソフトウェアコミュニティにとって最も重要なイベントです。

本年の FOSS4G イベントとして 7 月の FOSS4G HOKKAIDO と 9 月の FOSS4G SEOUL を紹介します。The Open Source Geospatial Foundation (以下 OSGeo 財団) <http://www.osgeo.org/> は 2006 年に設立されたオープンソース GIS コミュニティです。様々なオープンソース GIS 製品のコミュニティや、オープンソース GIS を題材にした地域・言語・・関心分野別のコミュニティの連合というものが、コミュニティのコミュニティという意味です。

OSGeo 財団は設立以来 QGIS, PostGIS, GDAL/OGR, GeoServer, MapServer 等、数多くのオープンソース GIS の開発と普及を主導してきました。この成果により世界中で GIS の利用と開発のための敷居が低くなり、デジタル地理空間情報の利活用がすすみました。また最近では、OSGeo 財団、ICA、ACI、ISPRS が共同して、「Geo for All」という、地理情報についての教育機会拡大のためのプロジェクトが行われています。<http://www.geoforall.org/>

2006年にスイスのローランヌで第1回のFOSS4G世界カンファレンスが開催され、以後ヨーロッパ、北米、その他（アフリカ、アジア、オセアニア）の地域別順番で毎年世界カンファレンスは開催されています。今回のソウル開催はアジア地域で初めて開催されるFOSS4G世界カンファレンスです
<http://2015.foss4g.org/>。

カンファレンスは9月14日から19日まで、韓国のソウルにあるK Seoul Hotelで開催されます。

通常はインターネット越しに情報交換や共同開発を行っている世界中のメンバーが集まりプレゼンテーションやワークショップやBird-of-a-featherといわれる自由集会が開催されます。Code Sprintというコードを直接いじり共同で開発作業を行う1日もあります。

また今回はAsia Special Sessionというセッションが用意されておりアジア地域でのFOSS4Gについての情報交換が行われます。世界中のFOSS4Gについて触れることができる絶好の機会です。皆様のご参加をお待ちしています。

またOSGeo財団日本支部は毎年東京、大阪、北海道でFOSS4Gのタイトルでローカルカンファレンスを開催しています。今年度の最初は7月2日から4日までに開催予定のFOSS4G 2015 HOKKAIDO
<https://sites.google.com/site/foss4ghokkaido/>です。

7月2日は旭川プレツナー、3日は北海道大学札幌キャンパスにおける基調講演、事例発表、懇親会（+ライトニングトーク）、4日はハンズオンデイです。ハンズオンはGISCA教育認定講座となるのでGIS上級技術者取得・更新のためのポイント対象講座になります。こちらも皆様のご参加をお待ちしています。

学会周辺の動向

■（仮）若手会員分科会準備会のメンバーを募集します！

本学会の次世代を担う若手会員の研究活動の活発化、産官学などの交流を目的とした（仮）若手会員分科会を設立することになりました。若手の正会員、学生会員の方で参加を希望される方は、9月30日（水）までに以下のフォームによりお申込みをお願いいたします。10月10日（土）・11日（日）に慶應義塾大学三田キャンパスで開催される第24回学術研究大会の期間中に、キックオフ集会を開催予定です。

年齢による制限はありませんので、産官学など様々な分野における「若手」会員の皆様のご参加をお待ちしています。

発起人

山本佳世子（支部・分科会担当理事）

連絡先

電気通信大学大学院情報システム学研究科

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL&FAX: 042-443-5728

E-mail:k-yamamoto@is.uec.ac.jp

【申込方法】

以下のフォームより、お申し込みください。

<http://goo.gl/forms/HkBCtiOL1C>

学会後援行事等のお知らせ

■ 共催 「空間情報シンポジウム2015」

主催：株式会社インフォマティクス

会期および会場：

2015年7月

9日（木）東京、16日（木）大阪、24日（金）名古屋
ほか札幌、福岡

詳しくは…

<http://www.informatix.co.jp/sympo15/index.html>

■ INQUA（国際第四紀学連合）2015名古屋大会

大会期間：2015年7月27日（月）～8月2日（日）

会場：名古屋国際会議場

詳しくは…<http://inqua2015.jp/>

■ 後援 46th ISAGA conference/Japan Association of Simulation & Gaming

主催：NPO法人日本シミュレーション＆ゲーミング学会

会期：2015年7月17日（金）～21日（火）

会場：立命館大学 朱雀キャンパス

詳しくは…<http://jasag.org/isaga2015/>

事務局からのお知らせ

■『GIS-理論と応用』採用の目安

投稿から査読結果が出るまで、現在、平均して40日程度です。採用された論文は、直ちに学会HPのデジタルライブラリに収録され（閲覧は会員に限られます）、6月または12月発行の書籍にも掲載されます。

受付は随時、みなさまの投稿をお待ちしています。

なお、今年度から測量CPD学習プログラムのポイント付与の対象となりました。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■ 年会費のお支払いについて

2015年度の年会費納入期限は4月30日（郵便振込）、6月29日（口座振替）でした。ご協力ありがとうございます。

お支払いが未だの方には別途、連絡を差し上げておりますので、お早目の対応をお願いいたします。

なお、来年度以降の会費納入に口座振替（1,000円割安です）をご希望の方は、事務局までご連絡ください。近年、印鑑相違等書類不備で委託業者から戻される例が増えております。ご注意ください。

■ 変更届等について

就職、転職、所属や自宅の場所が変わった等々の場合、速やかに変更届をご提出ください。変更はオンラインで出来ます。

<https://www.gisca-japan.org/member/login.php>

2015年5月末現在の個人会員 1146名、賛助会員 65社

賛助会員

(2口) NTTタウンページ㈱
(1口) アクリーブ(株), 朝日航洋(株), アジア航測(株), いであ(株), 株インフォマティクス, ESRIジャパン(株), 株NTTデータ数理システム, 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術(株), 大阪土地家屋調査士会, オートデスク(株), 株オオバ, 株かんこう, 関東甲信越東海GIS技術研究会, 岐阜県建設研究センター, 九州GIS技術研究会, 協同組合くびき野地理空間情報センター, 近畿中部北陸GIS技術研究会, 株こうそく, 国際航業(株), 國土情報開発(株), 株古今書院, 寿精版印刷(株), GIS総合研究所(株)ばらき, 株GIS関西, ジェイアール西日本コンサルタンツ(株), 株JPS, 株ジオテクノ関西, 株ジオプラン, 株昭文社, 株ジンテック, 株ゼンリン, 株谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタント(株), 中四国GIS技術研究会, テクノ富貴(株), 東北GIS技術研究会, 株ドーン, 内外エンジニアリング(株), 長野県GIS協会, にいがたGIS協議会, 日本エヌ・ユー・エス(株), 日本コンピュータシステム(株), 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ(株), 日本測量調査技術協会, 日本土地家屋調査士会連合会, (財)日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ(株), 株パスコ, 阪神高速技術(株), 東日本総合計画(株), 北海道GIS技術研究会, 株マップクエスト, 株松本コンサルタント, 三井造船システム技研(株), 株三菱総合研究所, 三菱電機(株), (財)リモート・センシング技術センター
自治体会員 : (1口) 大阪府高槻市役所, 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

●自治体 : 浅野和仁 (大阪府富田林市) 事務局 : 青木和人 (あおきgis研究所 Tel 050-5850-3290) E-mail : kazu013057@gmail.com	●時空間GIS : 吉川耕司 (大阪産業大学 Tel 072-875-3001) E-mail : yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp
●ビジネス : 高坂宏行 (日本大学 Tel 03-3304-2051) E-mail : kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp	●地図・空間表現 : 若林芳樹 (首都大学東京 Tel 042-677-2601) E-mail : wakaba@tmu.ac.jp
●防災GIS : 畑山満則 (京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333) E-mail : hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp	●セキュリティSIG : 内布茂充 (行政書士 内布事務所 Tel 090-2284-4125) E-mail : spcn87q9@royal.ocn.ne.jp
●土地利用・地図GIS : 碓井照子 (奈良大学) 事務局 : 西端憲治 (株セイコム Tel 0721-25-2728) E-mail : totiryo-sig@seicom.jp	●FOSS4G分科会 : Venkatesh Raghavan (大阪市立大学) 連絡先 : 嘉山陽一 (朝日航洋(株) TEL049-244-4032) E-mail:youichi-kayama@aeroasahi.co.jp

地方支部の連絡先一覧

<北海道支部> 支部長 : 北海道大学 橋本雄一 Tel : 011-706-4019, E-mail : you@let.hokudai.ac.jp	<中国支部> 支部長 : 広島修道大学 川瀬正樹 Tel : 082-830-1210, E-mail : kawase@shudo-u.ac.jp
<東北支部> 支部長 : 東北大學 井上亮 Tel : 022-795-7478, E-mail : rinoue@plan.civil.tohoku.ac.jp	<四国支部> 支部長 : 徳島大学 塚本章宏 Tel : 088-656-7616, E-mail : tsukamoto.akihiro@tokushima-u.ac.jp
<北陸支部> 支部長 : 新潟大学 牧野秀夫 Tel : 025-262-6749, E-mail : makino@ie.niigata-u.ac.jp	<九州支部> 支部長 : 九州大学 三谷泰浩 Tel : 092-802-3399, E-mail : gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
<中部支部> 支部長 : 中部大学 福井弘道 連絡先 : 杉田暁 (中部大学) Tel : 0568-51-9894 (内線 5714), E-mail : satoru@isc.chubu.ac.jp	<沖縄支部> 支部長 : 琉球大学 宮城隼夫 E-mail : miyagi@ie.u-ryukyu.ac.jp 連絡先 : 有銘政秀 ((株) ジャスマインソフト) Tel : 098-921-1588, E-mail : arime@jasminesoft.co.jp
<関西支部> 支部長 : 大阪工業大学 吉川眞 連絡先 : 田中一成 (大阪工業大学) Tel : 06-6954-4293, E-mail : gisa@civil.oit.ac.jp	

■ 編集後記 ■

私が大学に居た頃は、地向斜論なんて言うのを学んでました。プレートテクトニクスに取って代わられた古い理論として wikipedia にも載せられています。現在の常識や理論が、研究や新しい発見・技術によって変わっていくのを体感したわけですが…。

さあ 研究発表大会はどんな発表を聞けるでしょうか。
事務所の移転と原稿の締切と様々な納期が重なり、残念ながら代議委員会に出席することが出来ませんでした。
ServerOS のサポート終了やクライアント用 OS のリリースなど、周辺の環境も変わっていることですし時間ができたらちょっと新しいことでも、勉強しますか。

谷口 彰 (GIS 総合研究所)

地理情報システム学会ニュースレター

第 94 号 ● 発行日 2015 年 6 月 25 日

■ 発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: http://www.gisa-japan.org/

■ 弥生雑記 ■

奈良・明日香村には万葉集の歌碑があちこちにあり様々な方が揮毫しているが、その中で万葉集の大家・犬養孝氏のものは全て万葉仮名で刻まれているという特徴を持つ。

万葉仮名は日本語の音(節)の表記のため漢字を本来の意味にかかわらず用いたので、今となつては読み方が不明なものもある。研究者が多い万葉集の中にも、未だ解説が出来ない歌も珍しくはない。例えば柿本人麻呂の「東野炎立所見而反見為者月西渡」を「ひんがしの野にかぎろひの立つ見えて返り見すれば月かたぶきぬ」とさらりと読める人はどれくらいいるだろうか。しかもこれはあくまで 18 世紀の国学者・賀茂真淵の読みであり、現在、この読みが違うことは定説となっている。しかしながら、この読みの美しさと格調は真淵以前の、また現代の仮説の追随を許すものではなく、文学の受容という点で、否定できるものでは決してないである。

犬養氏の揮毫はまず読めないから、歌碑として親切なものとは言い難い。が、研究者としての真摯な、そして謙虚な姿勢を感じさせるものがある。基本を忘れてはいけないと。(学会事務局)